

**授業概要**

線形代数学は、一言で言えばベクトル、行列の学問であり、数学分野では極めて実用的な学問である。本講義では、ベクトルと行列の概念から、それらの演算について解説する。他分野への応用を視野に入れながら、現実的な演算能力を養うことを目標としている。取り扱うテーマは、行列式の定義とその性質、応用、行列の概念とその演算および、正則行列、逆行列の概念と一次方程式などへの応用、固有値、固有ベクトルの概念と応用、行列の関数と関数の行列、数ベクトル空間などである。

**授業計画**

第1回	行列式の定義とその性
第2回	行列式の余因子展開
第3回	ベクトル
第4回	行列の定義
第5回	行列の演算
第6回	正則行列
第7回	逆行列
第8回	連立一次方程式の理論
第9回	固有値
第10回	固有ベクトル
第11回	行列の対角化
第12回	行列の指数関数
第13回	関数の行列
第14回	数ベクトル空間
第15回	一次変換
第16回	定期試験

**到達目標**

行列、ベクトルの性質を理解し、その演算手法を学習する事で、配列計算に適用する応用力を養うとともに、数学的思考力の獲得を目標にする。

**履修上の注意**

高校数学程度の知識は持っていることを前提としている。習熟している必要はないが、最低限必要な基礎知識は備えていて欲しい。

**予習復習**

高校数学の復讐をしておいて欲しい。

**評価方法**

定期試験の成績に平常点を加味して成績を評価する。

**テキスト**

コア・テキスト 線形代数（鈴木 香織著、サイエンス社）